

忘れないで!! 昨年8月11日の地震を

380万人が震えた日

問合せ/総務課 (979-8102)

東海地震から生き残るために

平成21年8月11日早朝に発生した地震。残念ながら1人が亡くなり、300人を超える負傷者が出ました。倒壊した家屋が皆無であったことなど、全般としては震度の割に大きな被害につながりませんでした。ですが、東海地震は8月11日の地震の約180倍のエネルギーをもった大きな地震です。私たちは被害が大きくなかったと安心するのではなく、耐震性のある住居、つまり壊れず倒壊することがない住居に住むことがいかに大事かを、改めて知るべきではないでしょうか。

平成21年8月11日の駿河湾の地震		東海地震の被害想定 (冬5時予知なしの場合)	
マグニチュード	6.5	➡	8
最大震度	6弱	➡	7
死者	1人	➡	約5,800人
負傷者	311人	➡	約100,000人
建物被害	8,672棟	➡	約750,000棟

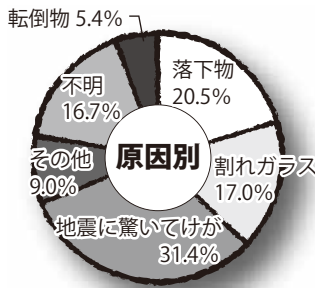


地震で被害を受けた室内の様子。駿河湾地震では、負傷者のうち、落下物や転倒物によってけがをした人が約43%でした。

家具の固定や落下物対策をしていれば被害を防げた可能性が高いはずです!

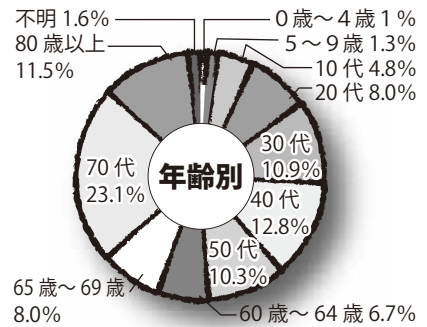
平成21年8月11日に発生した地震の検証

～原因別・年齢別の人的被害の状況～



落下物・転倒物など…42.9%/テレビや花瓶など落下物によるけがが20.5%、割れたガラスや食器などによるけがが17.0%、固定していない棚やタンスなどの転倒物によるけがは5.4%で、計42.9%が家庭内の安全対策の不備によるけがでした。

地震に驚いて…31.4%/地震の揺れに驚いて慌てて行動するなど、地震に驚いてけがをした人の割合が31.4%と多く、家の耐震性への不安などが背景にあると推測されます。



高齢者のけが人…42.6%/年齢別では65歳以上が42.6%を占めており、高齢者の割合が高くなっていました。



9月1日は「防災の日」です

～各地区の防災訓練に参加しましょう!～

ひとたび大地震が発生すると個人や家族の力では限界があります。だからこそ、さまざまな年代、多様な人たちが協力し合って、家庭や地域で防災に関する取り組みを進めていきましょう。



Photo Gallery

函南町青少年健全育成大会 聞いてください、僕らの声



▲壇上から熱いメッセージを訴える代表生徒たち

7月4日に函南町中央公民館で「地域のみんで声掛け運動」をテーマに函南町青少年健全育成大会が開催されました。

7月の「青少年の非行・被害防止強調月間」に毎年開かれている同大会。各種関係者や町内小中学校PTA会員など合計約5百名が参加しました。主張発表では、町内小中学校、田方農業高校の代表児童・生徒による主張発表、社会を明るくする運動ポスターの表彰が行われました。

東駿河湾環状道路の出前講座 橋脚建設の工事現場を見学



▲たくさんの「将来の夢」が書かれた大きな杭

7月2日、東駿河湾環状道路の出前講座が開かれ、丹那小学校3年生19人が函南高架橋の橋脚工事現場を見学しました。

児童たちは、橋脚を支える鋼鉄製の大きな杭にペンキで「将来の夢」を書き込んだほか、建設中の橋脚に登り、町内の様子を眺めました。

また、現場の地下から貝殻が出土していることから「昔は海であった」という説明では、児童から驚きの声が上がりました。

（仮称）阿弥陀・郷土資料展示館起工式 平成24年度初めの開館を目指して



▲安全な工事を祈願して、くわ入れをする森町長

桑原区の旧桑村小学校跡地で、新設する（仮称）阿弥陀・郷土資料展示館の工事が始まりました。7月23日に同敷地内で建設工事安全祈願祭が開かれ、森町長、函南町教育委員会、函南町議会、桑原区関係者などが出席し、工事の安全を祈願しました。

この施設は、桑原薬師堂内で保存・展示している、桑原区から寄付された阿弥陀三尊像（国指定重要文化財）を始めとする24体の仏像群のほか、郷土資料を展示します。面積は約545㎡で、完成は平成23年秋の予定。平成24年度初めの開館を目指します。